



公益社団法人 栃木県柔道整復師会

■ 発行／(公社)栃木県柔道整復師会

■ 印刷所／藤崎印刷株式会社

宇都宮市西一の沢町4番7号 TEL 028-648-0502(代)

■ 発行人／田代富夫

■ 編集人／小森照久



HP



帝京大生、国際大会救護協力に向けて

9月6日、第16回柔道整復学・豊郷台シンポジウム(第15回帝京大学・公益社団法人栃木県柔道整復師会ジョイントシンポジウム)が帝京大学宇都宮キャンパスで開催された。

今回のシンポジウムのテーマは「第1回タッチラグビー・アジアパシフィック大会栃木県開催に向けて」。同大会は10月7日～10日、栃木県総合運動公園において開催され、13の国と地域から集まった52チームが参加した。

シンポジストに日本アスリートライフサポート協会(JALSA)代表理事・古家信介医師、日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター・山本真広看護師(JALSA 理事)、帝京大学医療技術学部柔道整復学科・赤堀宏紀助教(JALSA 理事)を迎え、古家先生が「タッチラグビーの競技特性とメディカルサポート」、山本先生が「安全を支える救護体制と多職種連携」、赤堀先生が「タッチラグビー救護における柔道整復師の役割」を講演した。



左から古家医師・山本看護師・赤堀助教

大会には帝京大学柔整学科の教員・学生が救護スタッフとして協力したが、今回のシンポジウムはそのための

プレゼンテーション的なものであった。

講演後には、シンポジスト3人によるディスカッションも行われ、救護に臨む学生からの質問に丁寧に答え、「国際大会なので言語の壁はあるが失敗を恐れず楽しんでほしい」と付け加えていた。

臨床経験から導かれた答え

論文発表では、当会から塩谷支部の加藤芳昭会員が、「ドローイン呼吸法による体幹強化と姿勢改善指導で得られる効果についての検証」を発表した。



この研究は、施術にドローインエクササイズを取り入れることで、外傷予防や腰痛改善などに効果がみられたというもの。

帝京大の参加者から「廃用性症候群やスポーツ選手のパフォーマンス低下に対し、ドローインエクササイズがどうつながるのかを知りたい」との質問に、「例えばサッカー選手の下肢の外傷に対し、局所のROM改善訓練や筋力強化をしていたが、復帰しても転倒や接触による再発が多かった。そこでバランスボールやTRXトレーニングを導入し、体幹強化を意識したことで再発率が下がり、パフォーマンスの向上につながった。年配者にも動的ストレッチマシンによるトレーニングをしているが、これは呼吸を意識して体幹を固めないとうまく使えないため体幹強化にもなっている。こうした経験から、比較的簡単に体幹強化が期待できるドローインエクササイズを導入し、症状改善につながっている」と答え、質問者の納得を得られたようだ。

11・12月合併号 CONTENTS

Vol.401 とちのき

帝京大生、国際大会救護協力に向けて……………	1
保険部だより……………	2
地域医療での柔道整復師の役割……………	3
労働保険未手続事業一掃強化期間……………	3
My Box ……………	4
栃木労働局からのお知らせ……………	5

ほねから健康づくりのお手伝い……………	5
茨城県柔整師会とゴルフ連携……………	6
ほねつぎ日記……………	6
もののふコラム……………	6
支部だより……………	7
行事予定／お知らせ／川柳／編集後記他……………	8

研究と臨床 業界発展の両輪として

柔道整復学科が開設されて 17 年。「多職種との連携を円滑にするため、共通の知識と言語を獲得し、理解できる柔整師を養成することがテーマ」だとする沖永佳史学長の意を受け、現在は研究をより積極的に行い、教育の質を高める取り組みをしているとのこと。安田秀喜学科長は、さらに「研究だけでなく、臨床も大切。栃柔整会とは密に連絡を取り、お互いが尊重して一緒になって教育と研究を進めていきたい」と話し、当会との関係性を研究と臨床の両輪であるとした。

田代会長はこれを受け「柔整師の技術を埋もれさせることなく、分かち合う環境をつくることで業界も良くなり、社会的な見方も変わる」と話し、お互いが良いものを共有していく環境をつくりたいとする考えを述べ、このジョイントシンポジウムの意義とした。

これからもお互いが協力し、臨床能力と研究能力を高めていくことができれば、業界の光明ともなるだろう。

広報部 小野塚和史

保 険 部 だ よ り



災害共済給付 デジタル化へ

令和 9 年 1 月から「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の請求方法が変わります。

「医療等の状況」証明書の新様式は左上に QR コードが印刷されています。患者が持参した新用紙か、当会 HP 柔整師のページからダウンロードして記入します。基本的に施術所での対応はこれまでと変わりありません。記載方法についてもこれまでどおりです（料金の内訳の証明は省略してよい）。

今後は記載済みの用紙を患者自身がスマートフォン等で撮影し、写真データを左上にある QR コードのシステムにアップロードする形となります。OCR（光学的文字認識）により写真のデータから必要な情報が日本スポーツ振興センターのシステムへ自動入力されます（下記 QR コード参照＝災害共済給付金の支払い請求事務の流れ）。

用紙が旧様式の場合、データが読み取れません。

なお、「医療等の状況」の原本は、学校（園）へ照合のため提出が必要となる場合や医療機関での訂正などが必要となることもあるため、患者の保護者が一定期間（給付金を受け取るまで）保管することになりますので、保護者にはその旨をよく説明してあげてください。



申請書（レセプト）提出時の注意点① ～提出前に確認をお願いします～

- ※再提出・月遅れレセプトのデータは入力していますか？（入力にはレセコン業者にご確認ください）
- ※印字のズレ、擦れはありませんか？

※送付書・データ・レセプトの件数・金額は合致していますか？

申請書（レセプト）提出時の注意点② ～レセプトの正しい並べ方～

上からこの順番で重ねて提出願います。

1. 申請書送付書
 2. こども医療費助成申請書および重度心身医療費助成申請書
 3. 県内国民健康保険 090019 ～ 090886
 4. 歯科医師会国保 093013
 5. 県内後期高齢 39092010 ～ 39094115
 6. 協会けんぽ 栃木 01090018 【本人】 記号番号順
 7. 協会けんぽ 栃木 01090018 【家族】 記号番号順
 8. その他
 - 共済 070 ～、31 ～
 - 健保組合（保険者番号順）
 - 県外 協会けんぽ
 - 県外 国民健康保険
 - 県外 後期高齢
 - 医師国保 093021
- クリップ、ふせん、ホチキス止め、クリアファイルの仕切りは不要です。クリアファイルは同封されてもお返しできません。
 - こども医療・重度心身医療は、レセプトと混ぜないでください（まとめて一番上に）。
 - 返戻されたレセプトは？
誤りを二重線で消して、余白に訂正を記入して再提出ください（できる限り、再印刷せずに戻ったものを修正する）。

地域医療での柔道整復師の役割

9月2日 栃木県総合文化センターにおいて、第64回栃木県公衆衛生学会が開催された。当会からは芳賀支部の直江重人会員が「県内の接骨院・整骨院を受診した上肢疼痛患者に関する調査」を発表した。昨年の「下肢疼痛患者に関する調査」に続く調査研究である。

調査は、令和7年9月1日～11月30日までの3か月に、当会員の施術所に受診した上肢疼痛患者を対象としたアンケートを行い、396件のデータが回収できた。調査項目は以下のとおり。

①年齢及び性別

(幼少年期 0～14 歳・青年期 15～29 歳・壮年期 30～44 歳・中年期 45～64 歳・高年期 65 歳以上)

②疼痛の種類 (筋・関節・神経・骨・その他の5種類)

③発症部位 (肩・腕部・肘・前腕部・手指部)

④発症部位数

⑤発症の原因

⑥症状を有している期間

⑦発症部位が利き手側か非利き手側か

⑧頸部痛の有無

⑨運動習慣



その結果、幼少年期・青年期では、スポーツ活動時の負荷が主因となる発症が多くみられたのに対し、壮年期・中年期・高年期では、日常生活動作による発症が多いことがわかった。このことから、壮年期以上では日常の運動習慣やスポーツ活動の機会も少ないことが推測され、積極的に運動する機会をつくる必要があると考えた。

今後、柔道整復師が地域医療で果たすべき役割は、従来の施術だけではなく、外傷の発生や再発を予防する知

識やトレーニング方法などを年代別に指導していくことも重要であるとの結論を得た。

最終発表にもかかわらず、会場には多くの参加者が残っており「若年層はどんなスポーツでケガをするのか」という質問を受けたが、今回の調査にはその項目はなかったため、以前の下肢の調査からバスケットボール・バレーボール・野球・テニスなどであると回答した。

また、座長から「骨折などの重症患者が来た場合はどう対処するのか」の質問に対し、付設診療所や県内各地の協力医療機関との医接連携がしっかりと構築されているため、対応可能であると説明した。

当会は、今後も引き続き患者調査を行い、研究を重ねることで、県民の健やかな生活に役立てるよう努力していきたい。

今回の調査研究に伴い、会員の皆さまにはアンケートにご協力いただき、心より感謝いたします。

学術部長 高野康弘

労働保険未手続事業一掃強化期間 11/1～11/30

『労働保険 はたらく安全、つなぐ安心。』

「労働保険 (労災保険・雇用保険)」は労働者の業務上または通勤途上での負傷などと失業の場合に保険給付を行うもので、労働者を使用する事業主は法律で加入が義務づけられています。

まだ、加入手続きをされていない事業主の方は、労働基準監督署または公共職業安定所での加入の手続きをしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署またはハローワーク (公共職業安定所) にお尋ねください。



栃木労働局総務部労働保険徴収室
電話 028-634-9113

My Box 支部リレー投稿

第270走者 栃木支部 丸山佳洋

ちょっと怖いお話

現代科学でも証明できないような、“世にも奇妙なお話”をお持ちの方もいらっしゃると思います。

私も多くの不可思議な体験をしてきましたが、ここで少し話していきたいと思います。

ぜひ部屋を暗くしてお読みくださいませ。

母校の栃商フェンシング部の夏合宿に参加した時の話です。夜練習からの参加となり、さっそうと体育館へ。すると後輩たちがこちらを見て「ヒッ！」と。「なんだよ？」と声をかけると、私が入る直前に誰かが体育館へ入ってきたと・・・それが始まりでした。

同じく女子バスケ部も合宿中でしたが、飲み物を買に出たバスケ部の子たちから悲鳴が上がりました。駆けつけると「校舎の2階へ“影”が飛び上がった！」と言うんです。ちょうど見回りをしていた警備会社の人と挟み撃ちにしようと思いましたが誰もいませんでした。



※画像はイメージです

その後、夜練習も終わって合宿所へ向かうと、入口正面の食堂のカウンターにコップが逆さに置かれたお盆が二つ。その片方のお盆が揺れて音を立てていました。隣にいた後輩に「見に行け！」と言いましたが「行けません！」と。しばらく皆で固まっていた。

そして夜中、「1階から話し声が聞こえる」と起こされ、見に行きましたがそこには誰もいません。仕方なく外へ。合宿所の周りを見回り、校庭が見えるところへ行くと、体育館の上に大きな丸い光の球が見え、それがゆっくりと校庭の真ん中へ降りていきました。それは非常に明るく、校庭の砂粒がキラキラ光って見えるようでした。呆然と立ちすくんでいましたが、ハッと我に返り合宿所へ駆け込み、「もう無理！」と施錠し皆と一緒に夜を明かしました。

と、私の体験は実はこれだけではありません。それはまたの機会にお話しさせていただきます…。

信じるか信じないかはあなた次第です。

第271走者 足利支部 田口亜門

ロン・ミュエク展で体感した『Mass』の記憶



先日、気になっていた「ロン・ミュエク展」へ足を運んできました（ロン・ミュエク：イギリスで活躍する豪州出身の彫刻家）。

会場に一步足を踏み入れると、そこに広がっていたのは

日常と非日常が心地よく入り交じる不思議な空間でした。ロン・ミュエクの作品といえば、人間の皮膚の質感やシワ、髪の毛一本一本まで克明に再現された超リアルな彫刻ですが、単に「本物そっくり」というだけではありません。実物よりも圧倒的に大きかったり、逆にぐっと縮小されていたりするサイズ感が、観る側の感覚を揺さぶってきます。人物たちのどこか遠くを見つめる表情を見ていると、他人のごくプライベートな一瞬を覗き込んでしまったような、奇妙な緊張感を覚えました。

そして展覧会の後半、今回の鑑賞で最も強く心を揺さぶられたのが『Mass』という作品です。

展示室に入った瞬間、目の前に広がった光景に思わず息を呑みました。空間を埋め尽くすように積み上げられた、巨大な人間の頭蓋骨の群れ。一

つひとつが人の背丈ほどもあるスカルが、圧倒的な量感でドスンと鎮座しています。「Mass（塊・大量）」というタイトルのとおり、その迫力はまさに圧巻でした。



死を象徴するモチーフでありながら、不思議なことに恐ろしさやグロテスクさは感じません。静まり返った部屋で巨大な頭蓋骨群と向かい合っていると、圧倒的な存在感の中に、神聖さや静かな祈りのような空気さえ漂ってきます。自分という存在の小ささを実感させられると同時に、命の重みや時間について、じんわりと思いを巡らせてしまいました。

圧倒的なリアルさとスケール感で、人間の生と死について考えさせてくれるロン・ミュエクの世界。特にあの『Mass』が放っていた静かな迫力は、会場を後にした今でも胸の奥に深く残っています。

普段あまりアートに触れる機会がないという方も、たまにはふらっと美術館へ足を運んでみるのもおすすめです。スマホの画面で写真を見るのとはまったく違って、あの空間に立って全身で味わう感覚は、やっぱり生の体験ならではの面白さだなと思います。

次回は佐野・鹿沼支部にバトンタッチです。

ほねから健康づくりのお手伝い

9月5日、大田原市的那須野が原ハーモニーホールで開催された「栃木県シルバー大学校北校同窓会文化祭」において、骨密度測定と健康相談を行いました。

今回の骨密度測定は、北校同窓会より日本赤十字奉仕団を通して依頼を受け、接骨・整骨災害救護奉仕団那須支部から高野学術部長、榊原賢治会員、刈屋遵会員、大橋の4人が参加しました。

主催者からは、来場者数は1日100人程度の見込みと聞いていましたが、前日の下野新聞に掲載されたこともあってか、当日は予想を大きく上回る盛況ぶりとなり、最終的には9歳から92歳まで、200人の測定を行いました。



開始直後から多くの人が訪れ、終了まで途切れることなく測定が続き、参加した会員4

人は休む間もないほどの忙しさでした。それだけ多くの人が、自分の健康に関心を持っていることを実感する機会となりました。

測定後の健康相談では、単に測定結果を伝えるだけではなく「骨密度とは？」を知ってもらい、測定結果をどう捉えればよいのかを説明したうえで、日頃の生活習慣や運動、食事について、一人ひとりの状況に合わせたアドバイスを行いました。

実際に骨密度を測定することで、自分自身の身体の状態を知り、これからの健康について考えるきっかけになったのではないかと思います。

また、幅広い年齢層の測定をしたことで、骨の健康は高齢者だけの問題ではなく、若い頃から意識することが大切であると改めて感じました。

栃木県柔道整復師会が取り組む、こうした地域に根ざした活動が県民の健康維持・増進につながり、会員としてその一助となることができれば幸いです。

那須支部長 大橋智洋

栃木労働局からのお知らせ

栃木県最低賃金

時間額 **1,125**円

発効日：令和8年10月1日

ちゃんとチェック！働く人も、雇う人も確認を忘れずに
(最低賃金は常時作業場の見やすい場所に掲示する等により周知しなければなりません)

- 栃木県内で事業を営むすべての使用者及び事業場で働くすべての労働者に適用されます。
- 最低賃金以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反となり処罰される場合があります。
- 最低賃金には、慣習的手当・通勤手当・家族手当・臨時に支払われる賃金及び時間外労働賃金等は含まれません。
- 詳しくは、栃木労働局労働基準部資金室（電話028-634-9109）又は最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。



茨城県柔整師会とゴルフ連携



8月9日、猛暑のなか第4回栃柔整ゴルフ愛好会コンペが茂木町の希望丘カントリークラブで行われ、当会員15人、当会関係者6人、茨城県柔道整復師会からは箱守会長を含め10人、合計31人がエントリーした。

表彰式には田代会長も参加され、厚労省からの通知について「患者照会の対策が一步前進した。茨城県がよくなれば栃木県もよくなるので、互いにがんばりましょう」とエールを送った。



コンペ結果は下記のとおり。参加された選手の皆さま、お疲れさまでした。

順位	氏名	所属	Gross	HC	Net
1	高田 博美	茨城県	75	4.8	70.2
2	高橋 克佳	労務士	87	14.4	72.6
3	箱守 志農夫	茨城県	92	19.2	72.8
4	池田 宏明	ウェミナス	73	0	73.0
5	榊原 賢治	那須	78	4.8	73.2

広報部

ほねつぎ日記



羽田空港で高知行きの飛行機に乗るには、バスで搭乗口まで移動するのだが、その車中で隣にいた親子の会話。

息子「高知のどこに行くの〜？」

母親「桂浜に行くのよ」

息子「桂浜って、ただの砂浜でしょう？僕は遊園地がいい」

母親「坂本龍馬って知らないの？」

息子「そんな人、知らな〜い」

母親「桂浜には坂本龍馬の銅像があるのよ。犬を連れているやつ」

この母親も坂本龍馬を知らないんだろうな…。

坂本龍馬？



もののふコラム

石垣がはらむ？

青森県弘前市の弘前城は、当時の姿がそのまま残る「現存十二天守」のひとつだ。

天守が載る本丸東面の石垣は、長年の地震や地盤の影響で外側へ膨らむ「はらみ」が進行し、調査の結果「崩落の危険性が高い」とされ、2013年に「保存修理事業」が開始された。

まず、2015年に天守の「曳屋」を開始し、77m西に移動させ、「はらみ」のある石垣を解体した。9年かけて一昨年、最終石の積み直しが終了した。今年度は、基礎耐震補強工事を行った石垣の上に天守を戻す「曳屋」作業が予定されている。



矢印は移動した現在の天守、点線部が本来の天守の位置

8月の22日・23日には「ひっぱれ！けっぱれ！弘前城」という曳戻しイベントが開催され、当選した多くの市民や観光客が弘前城天守を引っ張った。残念ながら抽選に漏れた僕は枠外から声援を送った。



弘前市は「ねぶたまつり」が有名だが、「ねぶた」の由来は津軽弁の「ねぶてえ（眠たい）」だという。一方で青森市は、発音が「ねぶてえ」なので「ねぶた」となったそう。

不識院後光守

支 部 だ よ り

芳賀支部

9月26日、真岡市公民館第二会議場で第1回芳賀支部研修会が開催されました。

今回の研修会は「柔道大会救護活動における注意事項」と題し、倉持雅之事業部長が講師となり、救護員や審判員の立場から、また大会実行委員長の立場から実体験を交えた説明がなされました。

これは、各柔道大会での救護活動について、支部会員から「骨折等に対する処置やルール上（審判規定や大会規定）の対応など、救護員がどこまでできるのかわかりづらい」との意見が多く寄せられていたことから行われたものです。

参加者からも、救護活動時の苦労話のほか、骨折の負傷者への対応は正しかったのかなどの質問がありましたが、倉持事業部長が一人ひとりの質問に丁寧に答え、疑問を解決していました。



そのほか、各会員の施術所での患者への対応や症例検討なども行われました。こういった会員同士で情報を共有し、親交を深められることも当会の強みだと感じられました。

研修会終了後は懇親会が行われましたが、酒がまわると口もまわるものです。秘密にしている施術方法をぼろっと口に出してしまうのも懇親会のいいところです。

芳賀支部では、支部会後に懇親会を行っていますが、支部会には参加しても、懇親会への参加を見送る会員が増えています。ほかの先生たちの“秘密”を伺えるまたとない機会ですので、ぜひとも懇親会にも参加していただきたいと思います。

通信員 植木大輔

宇都宮支部

令和8年度支部会・忘年会のお知らせ

日 時：令和8年12月5日（土）

支部会 18：00～ 忘年会 19：00～

場 所：ホテル東日本宇都宮 TEL028-643-5555

那須支部

磨き続ける技術の継承

8月29日、榊原会館にて令和8年度那須支部研修会が、19人の参加者のもと開催された。

この研修会は県の助成対象事業で、今年度から当会各支部で年1回以上開催することになっている。

今回は、講師に当支部会員の刈屋太郎先生をお招きし、「臨床に役立つ脱臼・骨折の整復法並びに固定法」についての講演となった。

講演では、肩関節前方脱臼および後方脱臼、肘関節後方脱臼、上腕骨顆上骨折、スミス骨折、ダンス骨折などさまざまな症例の鑑別診断から整復法、固定法まで、貴重な臨床動画を交え実技と解説をいただいた。

刈屋先生の長年にわたる豊富な臨床経験と技術に加え、大学講師としての経験に裏打ちされた熱意とユーモア溢れる語り口はもはや芸術であり、多くの会員が引き込まれた。

その技術の一つに、基本的な整復法から発展を遂げた刈屋式整復法がある。患者に不安を与えず、患部を害さず、術者に負担をかけず、素早く正確に整復するその技術に感嘆の声が漏れた。



後日、筆者も臨床で肩関節前方脱臼の刈屋式整復法を試したところスムーズに整復できた。

県内トップクラスの外傷施術件数を誇る刈屋先生だが、その整復技術は飽くなき向上心から進化してきた。その一端を惜しげもなく会員に伝えてくれたこと、そして学びが深まったことに感謝するとともに、来年度以降の研修会でも多くの会員と研鑽し臨床に生かしていきたい。

通信員 古内秀直

2026 (令和8年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は 9:30~
11:30です

11月

- 1 日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・館・星野訓・大木
8 日(日) 療養費支給申請書必着日
日整全国少年柔道大会・「形」競技会・
日整全国柔道大会・高段者大会 [講道館]
13 日(金) 16:00 監事会 [当会館]
18:00 監査報告会 [当会館]
15 日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・岡本・大芦・小林
17 日(火) 20:00 理事会 [Web]
18 日(水) 20:00 とちのき編集会議 小森・藤田・小野塚
20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
24 日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
20:30 IT委員会 [当会館] 小森・木下
25 日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
27 日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]

12月

- 6 日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・館・平野・大木
8 日(火) 療養費支給申請書必着日
11 日(金) 20:00 とちのき編集会議 小森・木下・古内
16 日(水) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
17 日(木) 14:00 労災審査 [当会館]
20:00 理事会 (支部長参加) [Web]
18 日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
20:00 とちのき校正会議 小森・植木・小野塚
20 日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・直江・小林
22 日(火) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木
28 日(月) 仕事納め

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

当会館年末年始休暇(12/29~1/4)のお知らせ



緊急の場合は石井総務部長 070-4392-0239
または、事務局 080-9292-2551
までご連絡ください。

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

気ごころを理解し合えば揉めもせず
気力なら負けない後期高齢者
引き際が肝心未練など吐かず
居心地が良くて離さぬトップの座
猛犬の札にセールス背を向ける
握手さえ出来れば消える蟠り

information

お知らせ

会員数

令和8年10月1日現在

会員数 **340名**
研修柔道整復師 **9名**
施術所数 **323院**



訃報

- 宇都宮支部 船生 芳男 会員のご母堂様 (サイ 様
92歳) がご逝去されました。
宇都宮支部 東 文博 会員のご尊父様 (善行 様 75
歳) がご逝去されました。
鹿沼支部 藤田 好美 会員のご母堂様 (リン 様
92歳) がご逝去されました。
那須支部 大森 不二也 参与のご母堂様 (淑 様
95歳) がご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

宇都宮支部 船生 芳男
宇都宮支部 東 文博
鹿沼支部 藤田 好美
那須支部 大森不二也

薄毛戯言(深読禁止)

なぜ車のバッテリーは「あがる」の？

スマホのバッテリーが減って電源が落ちた時、「バッテリーが切れた」とか「なくなった」と表現するが、車のバッテリーが切れた場合だけ「上がった」と言うことが多い。

この場合の「上がった」は物事の終わりを指すようだ。寿司屋のお茶は「アガリ」、「雨が上がった」、すぐろくのゴールは「上がり」、「一丁あがり」などと同じなのだ。

編集後記



秋も深まり、朝晩はめっきり冷え込むようになりました。

そろそろ冬支度を始める頃ですが、食欲だけはまだまだ秋真っ盛り。おいしいものが多い季節なのがいけないのか、食べる側の意志が弱いのか…。

答えは分かっていますが、あえて考えないことにします。
みかすけ